
**医療と介護の連携推進業務委託
報告書**

令和6年3月
日野市健康福祉部高齢福祉課

(このページは白紙です)

目次

0	業務の概要	1
0-1	業務の目的	1
0-2	業務の進め方	1
1	日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会の開催	3
1-1	会議の概要	3
1-2	各回の内容	4
2	多職種協働による医療と介護の連携推進勉強会の運営支援	9
2-1	勉強会の開催状況	9
2-2	各会の内容	10
3	地域住民への普及啓発の実施支援	15
3-1	作業の概要	15
3-2	イベントの開催結果	16
4	多職種連携ルールの更新	21
4-1	作業の概要	21
4-2	ルールの更新内容	22
5	国、東京都・他自治体の取組等の情報提供	25
5-1	情報提供の実施状況	25
5-2	情報提供の具体的な内容	26
6	次年度の取組方針の検討	27
6-1	検討部会の開催	27
6-2	多職種協働による連携推進勉強会の開催	27
6-3	地域住民への普及啓発の実施	28
6-4	多職種連携ルールの更新	28
6-5	国、東京都・他自治体の取組等の情報提供	28

(このページは白紙です)

0 業務の概要

0-1 業務の目的

本業務は、日野市在宅高齢者療養推進協議会（以下、「推進協議会」）、日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会（以下、「検討部会」）及びその他在宅高齢者の療養環境整備支援に係る業務について、円滑かつ効率的、効果的に運営することを目的とする。

「推進協議会」及び「検討部会」は、高齢者が安心して在宅療養を受けられるよう、介護、福祉、医療、保健の各分野のサービス提供主体間における円滑かつ有機的な連携体制の構築を推進することを目的に設置されたものである。

0-2 業務の進め方

「検討部会」を作戦本部として、この運営支援を中心に、以下の各項目について企画・運営を進めた。

- 多職種による医療と介護の連携推進勉強会の運営支援
- 地域住民への普及啓発の実施支援
（市民啓発イベントの開催支援 及び 市民啓発ガイドブックの更新支援）
- 多職種連携ルールの更新
- 国、東京都・他自治体の取組等の情報提供

(このページは白紙です)

1 日野市在宅高齢者療養推進協議会検討部会の開催

1-1 会議の概要

「検討部会」は、在宅療養環境の向上及び医療と介護の連携体制の構築等に関する取組について具体的な検討を進めるために、「推進協議会」のもとに設置された会議体である。平成25年度より、医療と介護の連携に特に関わりの大きい「日野市医師会」「日野市歯科医会」「日野市薬剤師会」「日野市訪問看護ステーション協議会」「日野市立病院」「日野市在宅介護事業者協議会」「ひのケアマネ協議会」「地域包括支援センター」の8団体の代表者と行政を構成員に定期的に活動している。

近年は、新型コロナウイルス感染症への対応に関する情報交換や検討に多くの時間を割いてきたが、令和5年5月8日より感染症法上の位置付けが5類感染症になったことを受けて、令和5年度の「検討部会」は、従前の取組を再開すること、日野市の在宅療養環境について改めて確認・検討を行うことをテーマに開催することとなった。

▼「検討部会」等の開催日程と主要な検討テーマ

回数	日程	主要な検討テーマ
第1回	令和5年5月30日	○令和5年度の主な作業内容とスケジュールについて ○勉強会の開催内容等について ○日野市の在宅療養環境が抱える課題について
第2回	令和5年8月29日	○連携推進勉強会の開催内容について ○市民啓発イベントの実施内容について ○在宅療養支援窓口のあるべき姿について
第3回	令和5年11月29日	○第2段階勉強会の開催内容について ○市民啓発イベントの開催結果と今後の開催方針について ○今後の取組について
第4回	令和6年2月26日	○第2段階勉強会の開催内容について ○次年度の活動計画について

1-2 各回の内容

1-2-1 第1回検討部会

第1回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和5年5月30日(火) 18:30~21:00
開催場所	: 市役所501会議室とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	【委員】 : 日野市医師会代表望月氏、日野市歯科医会代表武内氏、日野市薬剤師会代表伊藤氏、日野市訪問看護ステーション協議会代表湯谷氏、日野市立病院MSW高橋氏、日野市在宅介護事業者協議会代表石岡氏、ひのケアマネ協議会代表横川氏、日野市地域包括支援センター代表相馬氏 【事務局】 : 志村健康福祉部参事(高齢者福祉・保健担当)、平高齢福祉課長、竹石介護保険課長、高尾健康課長 : 旗野課長補佐/在宅支援係長、青山保健師、長瀬保健師(以上、高齢福祉課)、委託事業者
プログラム	【報告】 1. 事務局連絡 【議題】 1. 今年度の取り組みについて 2. 第2回以降の連携推進勉強会の開催内容について 3. 市民啓発イベントについて 4. 日野市の在宅療養環境が抱える課題について(各職種の動きの報告を含む)
配付資料	【事前配布】 2022年度第4回検討部会 議事録、2023年度第1回検討部会 資料、2022年度事業報告書、2022年度第3回連携勉強会のまとめ
結論	1. コロナ禍で減少した「顔の見える関係づくり」の機会を設けるため、全4回の勉強会のうち3回を第1段階勉強会に充てることとする。 2. 第2段階の勉強会は1回開催することとし、その内容(症例)は、認知症を第1候補に検討を進めることとする。 3. 勉強会後の懇親会(自由参加)も再開することとする。 4. 市民啓発イベントは11/11(土)にイオンホールで開催することとし、プログラムの詳細は次回の検討部会で検討することとする。

1-2-2 第2回検討部会

第2回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和5年8月29日(火) 18:30~21:00
開催場所	: 市役所504会議室とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	<p>【委員】 : 日野市医師会代表望月氏、日野市歯科医会代表武内氏、日野市薬剤師会代表伊藤氏、日野市訪問看護ステーション協議会代表湯谷氏、日野市立病院 MSW 高橋氏、日野市在宅介護事業者協議会代表石岡氏、ひのケアマネ協議会代表横川氏、日野市地域包括支援センター代表相馬氏</p> <p>【事務局】 : 志村健康福祉部参事(高齢者福祉・保健担当)、平高齢福祉課長、竹石介護保険課長、高尾健康課長 : 旗野課長補佐/在宅支援係長、青山保健師、長瀬保健師(以上、高齢福祉課)、委託事業者</p>
プログラム	<p>【報告】 1. 事務局連絡</p> <p>【議題】 1. 連携推進勉強会の開催内容について 2. 市民啓発イベントの実施内容について 3. 日野市の在宅療養環境が抱える課題について (各職種の動きの報告を含む) 4. その他</p>
配付資料	<p>【事前配布】 2023年度第1回検討部会 議事録、2023年度第2回検討部会 資料、市民啓発イベント関連資料、日野市の在宅療養環境が抱える課題について(前回意見の整理)、2023年度第1回連携勉強会のまとめ</p>
結論	<p>1. 第2段階の勉強会は認知症をテーマに開催することとし、以下の通り準備を進める事とする。 -過去に開催した内容をベースに -多摩平の森の病院、七生病院の初期集中支援チームにも協力を打診する</p> <p>2. 市民啓発イベントの開催内容及び準備は以下の通り進めることとする。 ①ステージでは、前年度に作成した動画を上映した後にパネルディスカッションを行うこととし、その内容は以下の通りとする。 -パネルディスカッションでは部会委員が全員登壇する -進行台本は第2回の内容をベースに、部会委員と個別に内容を調整する ②ブースについては、資料の内容の他に追加で以下も準備することとする。 -より多くの関係者に協力依頼を行う -行政ブースでは行政が持っている制度やツールの紹介も行う -休憩コーナーでは過去2年に作成した動画の上映を行う</p>

1-2-3 第3回検討部会

第3回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和5年11月29日(水) 18:30~20:30
開催場所	: 市役所504会議室とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	【委員】 : 日野市医師会代表望月氏、日野市歯科医会代表武内氏、日野市薬剤師会代表伊藤氏、日野市訪問看護ステーション協議会代表湯谷氏、日野市立病院 MSW 高橋氏、ひのケアマネ協議会代表横川氏、日野市地域包括支援センター代表相馬氏 【事務局】 : 志村健康福祉部参事(高齢者福祉・保健担当)、平高齢福祉課長、竹石介護保険課長、高尾健康課長 : 旗野課長補佐/在宅支援係長、青山保健師、長瀬保健師、金原(以上、高齢福祉課)、委託事業者
プログラム	【報告】 1. 事務局連絡 2. 各職種の動き 【議題】 1. 第4回連携推進勉強会の開催内容について 2. 市民啓発イベントの開催結果と今後の開催方針について 3. 今後の取組について
配付資料	【事前配布】 2023年度第2回検討部会 議事録、2023年度第3回検討部会 資料、第4回連携推進勉強会 症例(案)、第3回ひの在宅医療・介護サービスフェア来場者アンケートの結果報告、第2回連携推進勉強会参加者アンケート(集計結果)
結論	1. 認知症をテーマに開催する第4回連携推進勉強会は、以下を踏まえた内容に再考することとする。 - 初期集中支援チームを知ってもらうことを狙いとする - この狙いを達成するため初期集中支援チームが関わってうまくいった事例(関わりが不要だった事例)を複数用意する - 症例検討/テーブルワークは従来からのやり方に拘らず、上記の事例と関連するような内容を検討する 2. 次回の市民啓発イベントは、以下のような方針で企画を検討することとする。 - 前半: パネルディスカッション+動画を活用した情報提供を想定する - 後半: 全職種のブース設置を継続する 3. 市民啓発イベントでは、その他にも以下のような点に留意することとする。 - タイムキーパーの配置 - 案内看板・案内係等の配置 - 照明・音声の改善 - 講演時のレイアウトやパネル設置場所の改善 - 30・40代への周知 - 動画の有効活用 4. 連携推進勉強会では、連携シートや連携ガイドのPRを継続して行うこととする。 5. 会議の開催案内等の公的な連絡はMCSとeメールの2ルートで発信することとする。

1-2-4 第4回検討部会

第4回検討部会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	: 令和6年2月26日(月) 18:30~21:10
開催場所	: 市役所505会議室とビデオ会議(Zoom)のハイブリッド
参加者	【委員】 : 日野市医師会代表望月氏、日野市歯科医会代表武内氏、日野市薬剤師会代表伊藤氏、日野市訪問看護ステーション協議会代表湯谷氏、日野市立病院 MSW 高橋氏、日野市在宅介護事業者協議会代表石岡氏、ひのケアマネ協議会代表横川氏、日野市地域包括支援センター代表相馬氏 【事務局】 : 志村健康福祉部参事(高齢者福祉・保健担当)、平高齢福祉課長、竹石介護保険課長、高尾健康課長 : 旗野課長補佐/在宅支援係長、青山保健師、金原(以上、高齢福祉課)、委託事業者
プログラム	【報告】 1. 事務局連絡 2. 各職種の動きについて 【議題】 1. 第4回連携推進勉強会の開催内容について 2. 次年度の活動計画について 【その他】 1. 検討部会委員の推薦について
配付資料	【事前配布】 2023年度第3回検討部会 議事録、2023年度第4回検討部会 資料、第4回連携推進勉強会 説明資料(案)、同 症例(案)、第3回連携推進勉強会 参加者アンケート(集計結果)、圏域別勉強会で出されたMCSに関する意見や質問
結論	1. 第4回勉強会は、開催内容や資料を以下の通り修正した上で開催することとする。 —初期集中支援チームの役割とともに多職種で何ができるかを学ぶ機会とする —グループワークは、症例検討ではなく、困り事やうまくいった経験や方法を出し合う内容とする —最後の解説では答えが出ないような困り事に対するアドバイスをもらう 2. 第2段階勉強会の勉強会要件については、原則として第1段階勉強会の参加経験者とし、特例的な取扱いについては引き続き検討部会で検討することとする。 3. 次年度の市民啓発イベントの開催内容を検討する際には、検討部会に関連する職種にオブザーバーとして参加をしてもらうことを検討することとする。

(このページは白紙です)

2 多職種協働による医療と介護の連携推進勉強会の運営支援

2-1 勉強会の開催状況

「連携推進勉強会」は、日野市及び「検討部会」が実施主体となって、医療と介護に携わる専門職同士の「顔の見える関係づくり」（第1段階勉強会）や多職種が同じ方向を向いてより良いサービスを提供できる体制づくり（第2段階勉強会）を目指して、定期的を開催しているものである。勉強会の開催結果は必ずまとめを作成して情報の共有と疑問点の解消に努めているほか、閉会後には懇親会の開催が恒例となっており、これらも多職種の連携を促進する材料となっている。

- 第1段階勉強会：市内の医療と介護の関係者の「顔の見える関係づくり」の場となる勉強会
 - 第2段階勉強会：具体的な症例検討等を通じた多職種協働のイメージ共有や具体的な経験を積み上げる場となる勉強会
- ※ この他にも、市内4つの日常生活圏域毎に地域包括支援センターが呼びかける地域の専門職間の交流や技術の向上を促す勉強会や、各職種独自の研修会や講演会等を開催している

近年は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインあるいはハイブリッド型の勉強会が中心となっていたが、令和5年度は以前と同様の形式での勉強会を全面再開することができた。この間、日野市の多職種連携の基礎となる「顔の見える関係づくり」が思うようにできていなかったことから、開催にあたっては第1段階勉強会を3回開催することとした。

▼各会の開催日程等

名称	日程	主催と対象
第1回 医療と介護の連携推進勉強会 【第1段階】	令和5年6月26日	主催：日野市高齢福祉課 対象：医師会、歯科医会、薬剤師会、訪問看護ステーション協議会、病院、在宅介護事業者協議会、ケアマネ協議会、地域包括支援センター連絡会の各団体*の所属事業所と市役所 ※「検討部会」に参加する8団体 *第2段階勉強会は、原則として第1段階勉強会に参加していることが参加条件となっている
第2回 医療と介護の連携推進勉強会 【第1段階】	令和5年9月15日	
第3回 医療と介護の連携推進勉強会 【第1段階】	令和5年12月15日	
第4回 医療と介護の連携推進勉強会 【第2段階】	令和6年3月8日	

2-2 各会の内容

2-2-1 第1回医療と介護の連携推進勉強会

第1回勉強会の内容は以下の通りである。

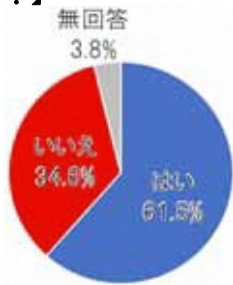


▼開催概要

開催日時	：令和5年6月26日（月） 19：00～21：00	
開催場所	：多摩平交流センター 集会室6	
出席者	【出席者】 ：関連8団体（9頁参照）に所属する参加者計44名 【事務局】 ：4名（グループワーク参加者を含む）	
プログラム	【開会挨拶】  ：日野市高齢福祉課からご挨拶	【情報提供】  ：グループワークの前に連携や勉強会の趣旨をご説明
	【グループワークの準備～自己紹介】  ：まず、他職種とのお付き合いの状況を青、黄、ピンクの3色の付箋に記入しました ：付箋が書き終わったら、順番に自己紹介をしながら書いた付箋を紹介しました	 <p>私の 1) 名前は… 2) 職種・所属は… 3) 「日野市との関わり」は</p>
	【グループワーク】  ：机上に並んだ付箋を見ながら気になる内容についてさらに情報交換や話し合いを行いました	【全体発表】  ：テーブル毎にどんな話が出たのかを発表しました（付箋の色はある意味各職種の成績発表です）

2-2-2 第2回医療と介護の連携推進勉強会

第2回勉強会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	：令和5年9月15日（金）19：00～21：00		
開催場所	：多摩平の森産業連携センター「PlanT」 イベントスペース		
出席者	【出席者】：関連8団体（9頁参照）に所属する参加者計34名 【事務局】：4名（グループワーク参加者を含む）		
プログラム ※	【日野市が主催する連携推進勉強会に参加したことはありますか？】 ■回答者数(N=26)		
	選択肢	回答数	構成比
	はい	16	61.5%
	いいえ	9	34.6%
	無回答	1	3.8%
合計	26	100.0%	
			
	【コロナ渦以降で他職種と顔をあわせる機会がありましたか？】 ■回答者数(N=26)		
選択肢	回答数	構成比	
あった	15	57.7%	
なかった	9	34.6%	
どちらともいえない	2	7.7%	
合計	26	100.0%	
			
	【本日の勉強会に参加して良かったと思いますか？】 ■回答者数(N=26)		
選択肢	回答数	構成比	
そう思う	23	88.5%	
ややそう思う	3	11.5%	
どちらともいえない	0	0.0%	
あまりそう思わない	0	0.0%	
そう思わない	0	0.0%	
合計	26	100.0%	
			
	【特に良かったと思う内容や聞いて良かった話などがあればお書きください】		
分類	主な記載内容		
顔をあわせて話げできた	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの他職種の方と交流できました。 ○顔の見える関係ができ、今後連携が取りやすくなると感じました。 ○それぞれの職種の率直な意見や疑問が聞いて良かったです。 ○各職種がどのように連携を取っているかわかりました。 		
役立つ具体的な情報が知れた	<ul style="list-style-type: none"> ○どこに何をどう聞いたらいいのかしばしば迷うことがありましたが、気軽に聞ける関係ができとてもよかったです。新たな情報がたくさん聞けました。 ○市立病院の病棟看護師さんに直接利用者の状態等を聞くことができる、聞いてもいいと言われて安心しました。 		
自職種に対する印象や意見を聞いた	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の職業・仕事にどのような人が関わってくださっているのかイメージが湧きました。今後の業務に活かしていけるようがんばりたいと思います。 ○他職種から包括に対する意見や思いを聞いて、支えながら仕事できていると実感しました。 		
新しい参加者があった	<ul style="list-style-type: none"> ○新しいCL、dentalCLの先生が参加してくれるような会であって良かった。 		

※第1回（10頁）と同じプログラムで実施しているためここでは参加者アンケートの結果を掲載する

2-2-3 第3回医療と介護の連携推進勉強会

第3回勉強会の内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	： 令和5年 12月 15日（金） 19：00～21：00		
開催場所	： 多摩平の森産業連携センター「PlanT」 イベントスペース		
出席者	【出席者】： 関連 8 団体（9頁参照）に所属する参加者計 43 名 【事務局】： 4名（グループワーク参加者を含む）		
プログラム ※	【日野市が主催する連携推進勉強会に参加したことはありますか？】 ■回答者数(N=35)		
	選択肢	回答数	構成比
	はい	24	68.6%
	いいえ	11	31.4%
	合計	35	100.0%
	【コロナ渦以降で他職種と顔をあわせる機会がありましたか？】 ■回答者数(N=35)		
選択肢	回答数	構成比	
あった	21	60.0%	
なかった	8	22.9%	
どちらともいえない	5	14.3%	
無回答	1	2.9%	
合計	35	100.0%	
	【本日の勉強会に参加して良かったと思いますか？】 ■回答者数(N=35)		
選択肢	回答数	構成比	
そう思う	32	91.4%	
ややそう思う	2	5.7%	
どちらともいえない	1	2.9%	
あまりそう思わない	0	0.0%	
そう思わない	0	0.0%	
合計	35	100.0%	
	【特に良かったと思う内容や聞いて良かった話などがあればお書きください】		
分類	主な記載内容		
顔をあわせて話ができた	<ul style="list-style-type: none"> ○他職種の方々との顔が見える状態で意見交換ができ大変有意義でした。 ○普段会うのが難しい医師や薬剤師と気軽に話ができ参考になりました。 ○他職種の新鮮な意見が聞け、これからさらに連携できるので仕事の意欲につながります。 		
役立つ具体的な情報が知れた	<ul style="list-style-type: none"> ○他職種と話をすることで実際今後につながるアドバイスをいただきました。 ○Dr.から気楽に連絡していただいて構わないと言ってもらい、敷居が低くなったと感じました。 ○包括支援センターの役割や連絡先などを教えていただきました。 		
自職種に対する印象や意見を聞いた	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科と他職種とのつながりがなくにびっくりしました。どうにかして機会を増やせればと考えています。 ○訪問看護さんより、もっと薬の飲み方など相談してほしいとの意見をいただき、情報共有が不足していると実感することができました。 ○地域での病院の役割を再認識しました。多職種の方々の貴重な意見や情報交換ができ勉強になりました。 		
新しい参加者があった	<ul style="list-style-type: none"> ○初めてお会いした方も大勢いらっしゃいました。この輪が広がると適切で温かい支援ができるのだと思います。そう実感できたことが良かったです。 		

※第1回（10頁）と同じプログラムで実施しているためここでは参加者アンケートの結果を掲載する

2-2-4 第4回医療と介護の連携推進勉強会

第2段階勉強会となる第4回勉強会は、認知症を取り上げることとし、「認知症の対応力を向上する ～チームで支える認知症ケア～」というテーマで開催した。その内容は以下の通りである。

▼開催概要

開催日時	：令和6年3月8日（金） 19：00～21：00	
開催場所	：多摩平の森産業連携センター「PlanT」イベントスペース	
出席者	【出席者】 ：関連8団体（9頁参照）に所属する参加者計36名 【事務局】 ：6名（グループワーク参加者を含む）	
プログラム	【はじめに】  <p>：日野市高齢福祉課から開会挨拶と日野市の認知症施策の概要について説明がありました</p>	【情報提供】  <p>：講師から認知症に関する基本的な情報や認知症初期集中支援チーム等に関する情報提供がありました</p>
	【グループワーク①】  <p>：グループ内の参加者同士で自己紹介 あわせて認知症で困ったこと／うまくいった対応を紹介しあいました</p>	【グループワーク②】  <p>：うまくいった対応を共有し、困ったことにどう対応すれば良いかを話し合いました</p>
	【全体発表】  <p>：各グループの代表にどんな話が出たのかを発表していただき、全体で共有しました</p>	【解説】  <p>：講師から総評と補足の解説 グループワークの様子や各グループの発表内容を踏まえてアドバイスをいただきました</p>

(このページは白紙です)

3 地域住民への普及啓発の実施支援

3-1 作業の概要

日野市では、地域住民に対して様々な方法で、在宅療養に関する基礎情報や日野市の在宅療養環境に関する普及啓発を行っている。

近年は、コロナ禍に対応した普及啓発活動として、リーフレット「日野市在宅療養ガイドブック」や「日野市在宅療養ガイドブック（導入イメージ紹介編）」、在宅療養の様子を伝える動画コンテンツの作成に取り組んできたが、今年度は大規模な集客イベントを再開することとなった。

平成31年2月以来約5年ぶりに開催した「第3回ひの在宅医療・介護サービスフェア」は、百名を超える来場者を迎える大盛況のイベントとなった。当日実施したアンケートでは、イベントに対する評価は良好で、また参加者の過半数は「在宅医療・介護サービスを利用していない」方となっており、“これから在宅医療や介護サービスを利用する方やその家族が、比較的元気なうちから必要なサービスを導入するイメージを持てるような情報提供を行う”という狙いを概ね達成することができた。

▼イベントの開催概要（チラシ）

第3回ひの在宅医療・介護サービスフェア

医療や介護を受けながら、
住み慣れた我が家で生活続ける
「在宅療養」をご存じですか？

日程 2023年11月11日(土)

時間 13時半～16時半
(13時間場)

会場 イオンモール
(イオンモール多摩平の森3階)

「宅間を限り 住み慣れた我が家で自分らしく生活したい」
そんな希望をお持ちの方、ご家族の方に参考となる情報を
入手する機会です。是非ご参加ください。

申込不要 入退場自由
入場無料 手話通訳あり

お問合せはこちらまで

主催：日野市高齢福祉課（☎514-8496）
後援：日野市在宅療養普及推進委員会
協賛：日野市医師会、日野市歯科医師会、日野市薬剤師会、日野市介護福祉士会、日野市福祉協議会、日野市障害者福祉協議会、日野市障害者支援センター
協力：大塚製薬、株式会社ヘルシーネットワーク、ココロケア株式会社、日野市社会福祉協議会
お問い合わせ：0429-514-8496（受付時間：午前9時～午後5時）

～プログラム詳細～

【ひの在宅医療・介護サービスフェア】は、会場前方のステージで全体に共通する基本的な情報提供を行う前半、参加者が自分の興味があるブースを回って知りたい情報が得られる後半の2部構成で開催します。

前半 在宅療養の基本を知ろう！
(13時半～) (60分程度/先着80名)

「在宅療養」の実例を映像でご紹介します。
その後、日野市内で「在宅療養」に関わる医療・介護の専門職の方や（下記参照）から、先の映像のポイントやサービスの利用方法等に関する解説説明を行い、在宅療養のイメージなど基本的な内容をお話しします。

座席前に取りがあるため席前については先着80名とさせていただきます（立ち見は入場の制限なし）

**後半 在宅療養について理解を深めよう！
自分や家族の疑問を解消しよう！**
(14時半頃～)

日野市内で「在宅療養」に関わる医療・介護の専門職の方やが積極的にブースを構えて、皆さまからの疑問や相談にお答えします。

専門職の相談ブースの他にも、介護保険制度等を紹介する各種チラシ/リーフレットの配布、介護ベッド等の福祉用具や機材を体験できる展示台といった自立つくり場が盛り込まれる予定です。

これだけの情報が一堂に集まれる機会はありませんので、是非お立ち寄りください！

前半・後半に参加予定の専門職（質問・相談が可能なお方々）

○医師：医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、市立病院（日野市総合病院）
○介護：ケアマネジャー、介護サービス事業所、地域福祉支援センター（ヘルパー・デイサービス）
○その他：リハビリ職（理学療法士、作業療法士）、栄養士、社会福祉協議会 など

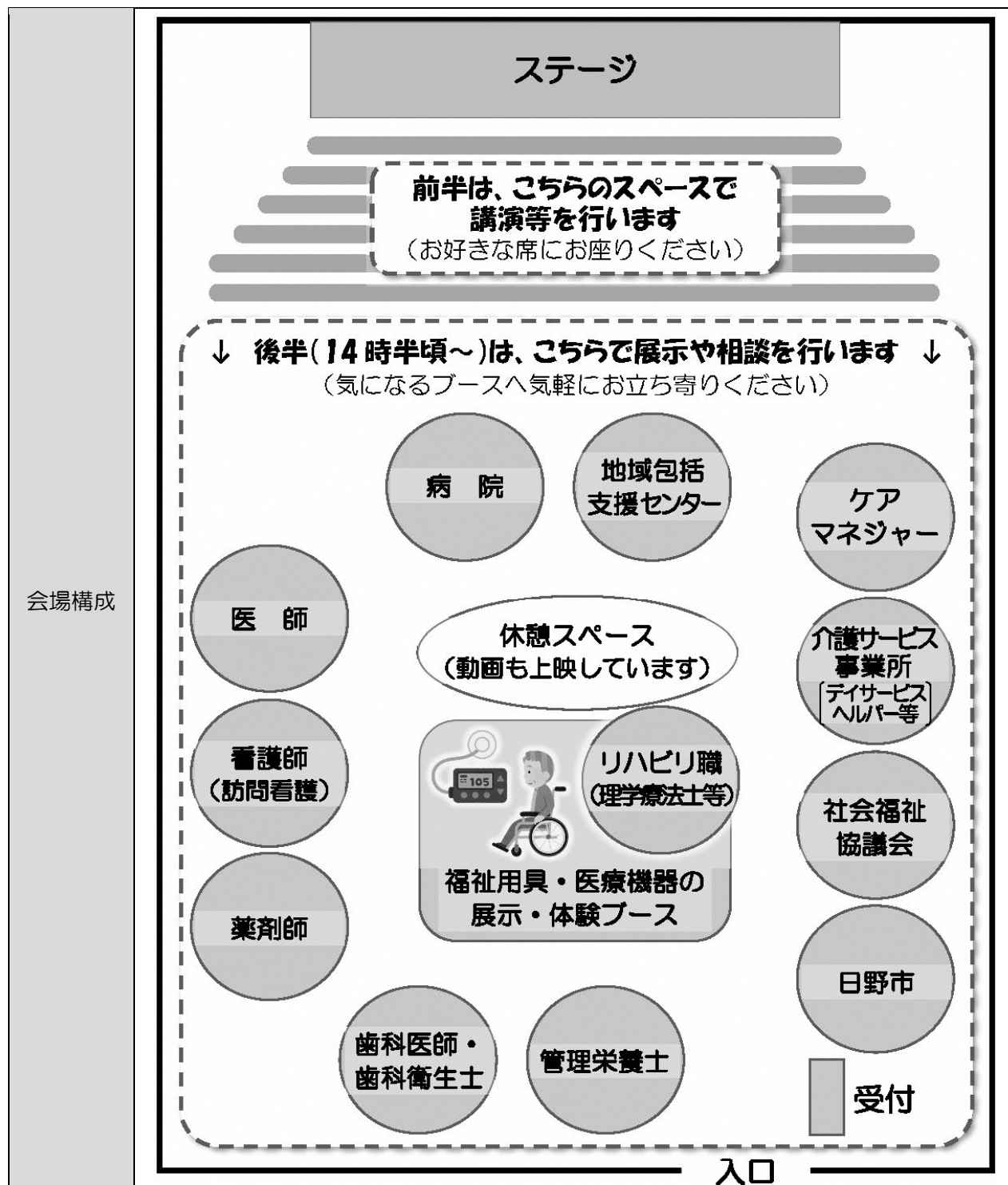
3-2 イベントの開催結果

3-2-1 具体的な実施内容

イベントの内容は以下の通りである。

▼開催概要 1/2

タイトル	: 第3回 ひの在宅医療・介護サービスフェア
開催日時	: 令和5年11月11日(土) 13:30~16:30
開催場所	: イオンモール多摩平の森3階 イオンホール
来訪者	: 128人(184人関係者・事務局含)
プログラム	<p>【前半：在宅療養の基本を知ろう（～14時30分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 前年度に作成した動画を上映し、実際の在宅療養生活の様子を紹介 : その後、「検討部会」委員がパネリストとなって、動画に対する補足説明や、在宅における各職種のサポート内容の紹介やよくある疑問への回答をパネルディスカッション形式で実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>動画の上映の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パネルディスカッションの様子</p> </div> </div> <p>【後半：在宅療養について理解を深めよう！自分や家族の疑問を解消しよう！（14時30分～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> : 在宅での療養生活を支える職種がそれぞれの仕事内容の紹介するパネルの展示や個別の相談を受け付けるブースを設置 : その他、在宅療養に欠かせない介護用品の展示や体験、管理栄養士による介護食の紹介や栄養相談を行うコーナー等も設置 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>全体風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>相談を行う様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>福祉用具の体験を行う様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工夫を凝らしたコーナーの様子</p> </div> </div>



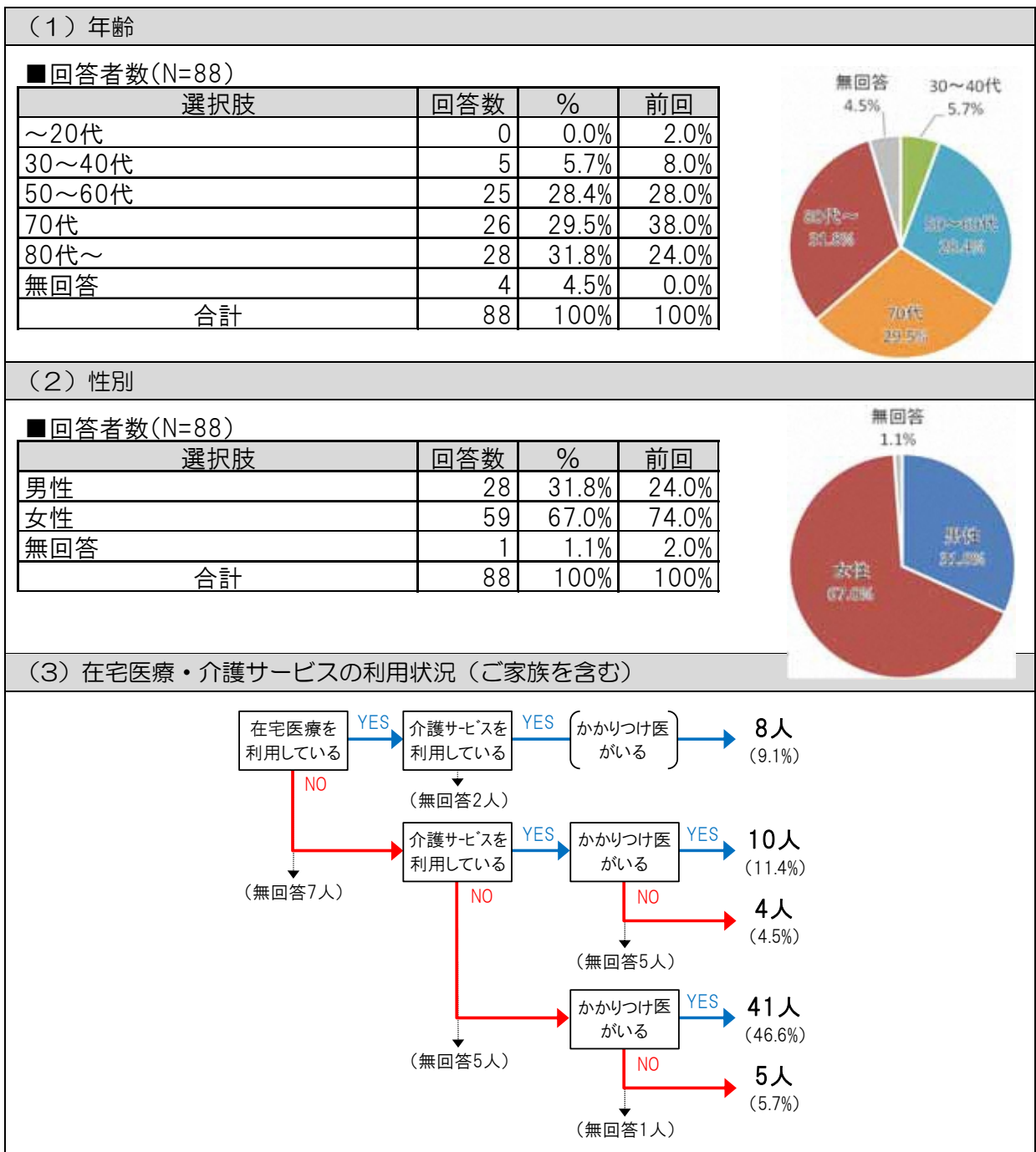
会場構成

3-2-2 市民の声

イベント来場者には、イベントの感想や今後の要望等を尋ねるアンケートを配付し、会場出口で回収した。全128人の来場者のうち88人から回収したアンケート結果の概要は以下に示す通り。

▼問1 回答者の傾向

- 回答者の年齢は、80代以上が3割強で最も多い。続く70代、50～60代も3割弱で、これらをあわせると全体の約9割を占める。
- 回答者の性別は、女性が全体の7割弱を占める（70代以上の女性が全体の4割強）。
- 本人または家族が在宅医療・介護サービスを利用しているのは29人で全体の3割弱となっており、これから利用することになる人、あるいは利用を検討している人も多く来訪している。



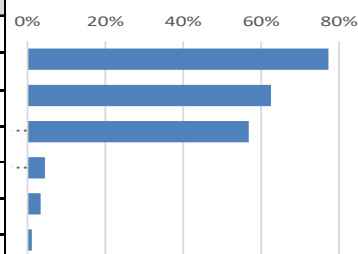
▼問2 イベントの評価 1/2 (イベントの感想等)

- ▶ イベントに参加した理由は、「在宅医療に関心があるから」「介護サービスに関心があるから」「ご自身やご家族の将来に漠然とした不安があるから」が多くなっている。
- ▶ イベントに参加して「とても良かった」「良かった」という回答があわせて全体の9割弱を占めている。
- ▶ 来て良かったと思うプログラムは、「パネルディスカッション」、「映像の上映」が特に多く、前半のプログラムの人気が高い。前回と比較すると「パネルディスカッション」とその他のプログラムの評価が逆転しているが、これは「映像の上映」に関して「反響が激しく聞き取れなかった」という指摘があったことなどが影響していると考えられる。

(1) イベントに参加した理由 (複数回答)

■回答者数(N=88)

選択肢	回答数	%	前回
在宅医療に関心があるから	68	77.3%	84.0%
介護サービスに関心があるから	55	62.5%	62.0%
ご自身やご家族の将来に漠然とした不安があるから	50	56.8%	52.0%
在宅医療・介護サービスに関わる仕事をしているから	4	4.5%	12.0%
その他	3	3.4%	6.0%
無回答	1	1.1%	4.0%
合計	88	100%	100%



(2) イベントに参加した感想

■回答者数(N=88)

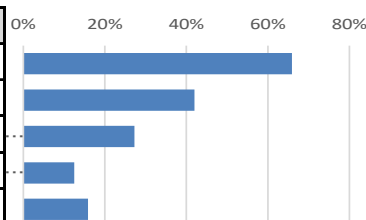
選択肢	回答数	%	前回
とても良かった	42	47.7%	48.0%
良かった	35	39.8%	50.0%
どちらともいえない	4	4.5%	0.0%
良くなかった	0	0.0%	0.0%
とても良くなかった	0	0.0%	0.0%
無回答	7	8.0%	2.0%
合計	88	100%	100%



(3) 来て良かったと思うプログラム (複数回答)

■回答者数(N=88)

選択肢	回答数	%	前回 [※]
パネルディスカッション	58	65.9%	54.0%
映像の上映	37	42.0%	72.0%
職種別のパネル展示や相談ブース	24	27.3%	20.0%
福祉用具、医療機器等の展示・体験	11	12.5%	18.0%
無回答	14	15.9%	14.0%
合計	88	100.0%	100.0%



※前回は「映像の上映」ではなく「講演」を実施した

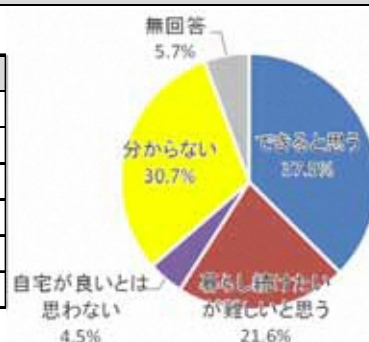
▼問2 イベントの評価 2/2 (今後のヒント)

- ▶ 今年度のイベントの1つの目標であった「最期まで在宅で暮らし続けることができると思ったか」を確認する質問に、4割弱の人が「できると思う」と回答している。前回と比較すると、新たに設けた「分からない」を選ぶ人が増えた分他の選択肢の割合が減少している。
- ▶ もっと詳しく知りたいことは、「費用負担」「元気なうちから準備できること」が特に多くなっている。前回と比較すると「費用負担」の割合が増加しており、生活の様子を伝える「動画上映」を選択した結果、「講演」よりもこうした内容の情報量が減少した影響が伺える。
- ▶ イベントを何で知ったかという質問には、「市の広報」「チラシ・ポスター」が3割前後と特に多くなっている。ただし、前回と比較するとやや回答がばらけている。

(4) イベントを通して最期まで在宅で暮らし続けることができると思ったか

■回答者数(N=88)

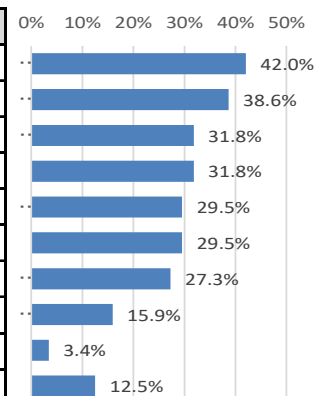
選択肢	回答数	%	前回
できると思う	33	37.5%	50.0%
暮らし続けたいが難しいと思う	19	21.6%	38.0%
自宅が良いとは思わない	4	4.5%	4.0%
分からない	27	30.7%	—
無回答	5	5.7%	8.0%
合計	88	100%	100.0%



(5) 在宅医療・介護サービスについてもっと詳しく知りたいこと (複数回答)

■回答者数(N=88)

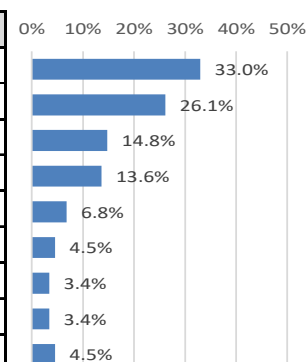
選択肢	回答数	%	前回
費用負担がどのくらい発生するのか	37	42.0%	28.0%
元気なうちから準備できることは何か	34	38.6%	40.0%
認知症になっても支えてもらえるのか	28	31.8%	40.0%
どんな事業所を選べば良いのか	28	31.8%	26.0%
持病に在宅医療が対応出来るのか	26	29.5%	20.0%
在宅のメリット・デメリットは何か	26	29.5%	30.0%
家族等の支援が(どの程度)必要か	24	27.3%	38.0%
相談やお願いをどこにすれば良いか	14	15.9%	16.0%
その他	3	3.4%	12.0%
無回答	11	12.5%	16.0%
合計	88	100%	100.0%



(6) 本日のイベントを何で知ったか

■回答者数(N=88)

選択肢	回答数	%	前回
市の広報	29	33.0%	50.0%
チラシ・ポスター	23	26.1%	36.0%
医療・介護関係者の紹介	13	14.8%	10.0%
市のホームページ	12	13.6%	8.0%
イオン内の掲示	6	6.8%	4.0%
家族や知人の紹介	4	4.5%	12.0%
偶然通りかかった	3	3.4%	0.0%
その他	3	3.4%	6.0%
無回答	4	4.5%	2.0%
合計	88	100.0%	100.0%



4 多職種連携ルールの更新

4-1 作業の概要

日野市では、医療・介護の関係機関の連絡先や多職種間での基本的な連絡の仕方、連絡用の書式をまとめた「多職種連携ガイド」を平成26年4月に作成している。令和元年度（平成31年度）には、「顔の見える関係づくり」で築いた繋がりを実務に活かしやすいよう、連絡方法や希望する時間帯、提供すべき情報等の望ましい連絡の取り方を職種別にまとめた「エチケット集（暫定版）」を作成し、内容の更新・拡充を図っている。

近年は、コロナ禍で企画・開催していた特定の職種や特定の職種間に焦点を当てた勉強会の成果をもとに「エチケット集」の更新を図っていたが、令和5年度は「顔の見える関係づくり」の再開にあわせて、「多職種連携ガイド」のPRや「エチケット集」に関連した多職種の意見の収集する作業を進めた。

▼「多職種連携ガイド」及び「エチケット集」のイメージ



4-2 ルールの更新内容

4-2-1 多職種連携ガイドのPR等

コロナ禍で「顔の見える関係づくり」の勉強会を開催できなかった間に日野市内で仕事を始めた医療・介護関係者が「多職種連携ガイド」等の情報に触れていないという指摘があったことから、再開した勉強会の中で以下のようなスライドを用いた情報提供を行った。

また、こうしたアプローチを行う中で、新たに「多職種連携ガイド」に登録した事業所の入力内容が一部の項目に限られていることが判明した。このような取組を踏まえて、次年度にはしない各事業所に入力内容の見直しや更新の働きかけを行うこととなった。

▼「多職種連携ガイド」のPRのイメージ



介護と医療の連携シート、多職種連携ガイド

- ▶ **介護と医療の連携シート**
 - ▶ 在宅療養高齢者等の支援に必要な情報のやりとりを医療と介護の関係者間で効果的かつ円滑に行うためのシートを用意しています
- ▶ **多職種連携ガイド (『日野市ケア倶楽部』)**
 - ▶ 医療・介護の事業所情報を掲載した「多職種連携ガイド」(WEBサイト「日野市ケア倶楽部」)を運用しています
 - ▶ <https://carepro-navi.jp/hino/StaffLogin/login>

連携シートのダウンロードや連携ガイドの利用申請は…

- ▶ 以下の日野市HPへ (または「日野市」「医療と介護の連携ツール」で検索) <<https://www.city.hino.lg.jp/fukushi/kourei/torikumi/1003579.html>>
- ▶ 多職種連携ガイドへの掲載や閲覧にはIDとパスワードが必要となります
- ▶ 多職種連携ガイドの利用申請や記載事項の訂正等の連絡は、介護保険課 (☎:042-514-8519、FAX: 042-583-4198、✉:kaigo@city.hino.lg.jp) までお問い合わせください

4-2-2 「エチケット集」に関連した多職種の意見の収集

「顔の見える関係づくり」の場となる勉強会で出された意見から、今後「エチケット集」に反映すべき意見や、今後の「エチケット集」の方向性を検討する上で参考となる意見を以下の通り収集した。

▼「エチケット集」に関連した主な意見

分類	内容	発言者
連携全般	○職種毎の役割がお互いに理解し切れていないことが連携の障害になっている。 ○連携には相互理解が必要だが職種間の接点が少ないと理解することが難しくなる。互いに疑問点等を伝えることができれば努力すべき方向性が見えてくるか。	薬剤師 ケアマネジャー
	○新しい人達が増え連携の形が崩れている（良い意味でも悪い意味でも職種の壁を超える動きが増えている）。各職種の役割を考えた良い方向に動いてもらいたい。 ○対象者の年齢／ステージ毎にそれぞれの職種の役割や立ち位置等が明確にできると良い。	訪問看護師 歯科医師
特定の状況における連携	○入院中の患者の情報をケアマネや訪看と共用する。 ○日野市立病院や康明会病院以外の病院でも入院情報提供書（連携シート）は、使用できるのか。 ○退院時の情報共有連携のあり方が課題。	病院 ケアマネジャー 包括
	○サービスの必要性があると思われる方がサービス利用に消極的な時、リスクを伝えることがご本人にとって良いことなのか…	ケアマネジャー
	○薬の飲み忘れ、残薬がある場合の対応の相談は薬剤師さんにして良いのか。また、飲み忘れた薬を薬局に持ち込んでも良いのか。	ケアマネジャー
特定の職種との連携	○病院のDr.と連携しづらい。 ○病院のDr.及び訪問のDr.との連携。訪問時間が分からない。	ケアマネジャー 薬剤師
連携のツール	○情報共有する方法が見つけにくく、患者情報の統一化が課題となっている。 ○OMCSを活用する。そのために模擬連携を行うのが良い。	薬剤師 介護サービス

(このページは白紙です)

5 国、東京都・他自治体の取組等の情報提供

5-1 情報提供の実施状況

「国、東京都・他自治体の取組等の情報提供」では、検討部会の検討内容にあわせて必要な情報の収集・提供を行っている。

令和5年度は、日野市の在宅療養環境に関する課題
 その中で特に多くの言及があった在宅療養支援窓口のあるべき姿に関連して、東京都内の在宅医療・介護連携に関する相談支援窓口の設置状況について調査を行った。

▼情報提供を行った分野と内容

分野	内容
東京都内の在宅医療・介護連携に関する相談支援窓口の設置状況	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口の役割 ・運営者別の設置状況

▼日野市の在宅療養環境及び在宅療養支援窓口に期待される内容【参考】

分野	具体的な内容
作戦本部	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中の問題点を抽出し、関連部署と連携しながら施策に反映する作戦本部が必要 ・介護職と医療職がつながる場をつくる、災害時に患者・利用者を支援する体制をつくるといった取組をリードして欲しい ・国や制度の動向を適宜情報提供して欲しい
調整役	<ul style="list-style-type: none"> ・行政内の各部署と連携して相談があった時に助けてくれる／うまくつなげる ・地域外からの問合せに対応したマネジメントを行う
相談対応 (対専門職)	<ul style="list-style-type: none"> ・包括や病院の退院支援窓口では対応できない特殊ケースや地域外からの対外的な窓口となる ・電話をしたら「ここに相談したら道が開けるかも」というアドバイスをしてくれる窓口を求めている ・どんなことでも、継続して相談できるルートが欲しい
(対市民)	<ul style="list-style-type: none"> ・「どういう支援があるか」「どこに連絡をすれば良いか」の情報提供が主となる ・退院支援以外の内容にも対応した相談窓口が必要
後方支援	<ul style="list-style-type: none"> ・公的な立場から地域の医療・介護資源を把握する ・新設の事業所を把握したら各職種団体を紹介してくれるつなぎ役が必要 ・連携シートや連携ガイドの周知やアップデート、ネット検索への対応が必要 ・「訪問を始めたいがどうしたら良いか分からない」という新規開業の医師等向けに訪問診療の実施に関する情報を紹介する
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・相談できる場所があることが周知されていないのが1番の問題

5-2 情報提供の具体的な内容

都内各区市町村では、入院医療から在宅療養への円滑な移行や安定的な在宅療養生活継続のため在宅医療・介護連携に関する相談支援を行う窓口の設置を進めており、東京都がこの窓口について調査した結果を一覧にまとめて公開している。

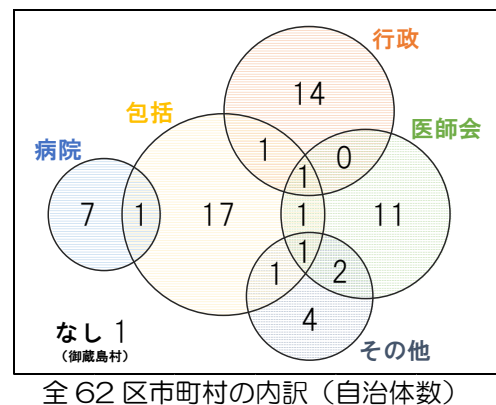
調査対象となる窓口の役割は以下の通り。

- 在宅療養患者を支える多職種が連携するためのコーディネート機能
- 地域の医療機関・介護事業者等に関する情報の収集・提供
- 住民が退院して在宅療養を開始するに当たっての相談対応 等

以下では、一覧の内容を運営者別、区市町村別に整理した結果を報告する。この内容は、事務局内での参考資料として活用している。

- 運営者別には地域包括支援センターが運営する形態が一番多い
- 自治体別に見てみると、地域包括支援センター以外の組織が運営する形態も多い
- 地域包括支援センターが運営する自治体では、同センターの数だけ窓口が開設されるため設置数が多くなることが推察される
- 異なる運営者が運営するセンターを複数設置する自治体もあり、各運営者の持つ強みに応じてや鎖分担をしていることが推察される

▼運営者別の窓口の設置状況（令和5年4月1日現在）



▼「その他」の8自治体の内訳

「その他」の運営形態以外は存在しない自治体

- 北区：訪問看護ステーション1箇所に設置
- 国立市：医療法人が運営する看多機施設1箇所に設置
- 東久留米市：訪問看護ステーション1箇所に設置
- 利島村：社会福祉協議会（包括も兼ねる）に設置

別の運営形態も存在する自治体

- 千代田区：「高齢者総合サポートセンター」1箇所に特養等を持つ社会福祉法人が運営する「相談センター」を設置
- 文京区：特養等の介護施設4箇所の施設内に設置
- 豊島区：保健所に歯科医師会が運営する「歯科相談窓口」を設置
- 江戸川区：社協が運営する地域の交流拠点9箇所に相談員を配置

6 次年度の取組方針の検討

6-1 検討部会の開催

令和5年度の「検討部会」は、従前の取組を再開すること、コロナ以降の日野市の在宅療養環境に関する地域の課題やその対応策について確認・検討を行うことを主なテーマに開催した。

令和6年度は、この内容をさらに踏み込んで検討を進めることとする。具体的には、在宅療養高齢者支援相談窓口の充実や、「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」の4つの場面に焦点をあてた対応の検討、「連携推進勉強会」やイベント「第3回ひの在宅医療・介護サービスフェア」等のレベルアップ等のアプローチが想定される。

<検討部会の進め方（案）>

- 年4回開催する（予定）
- 日野市の在宅療養環境に関する地域の具体的な課題を取り上げ、施策や勉強会、市民啓発のイベントにその内容を反映することを検討する
- 上記の取組について検討する際には、関係団体等にオブザーバー（仮）として参加を呼びかけることも想定する

6-2 多職種協働による連携推進勉強会の開催

対面形式で以前と同様の内容で再開した「連携推進勉強会」には、これまで参加したことがなかったという方も多く参加し、コロナ禍で薄れかけていた“顔の見える関係”づくりを進めることができた。

一方で、勉強会の参加者が固定化しているという声も一部で聞かれることから、令和6年度は、既存の参加者を飽きさせず、またより多くの人に参加してみたいと思うような内容を目指して、新たなテーマや形式の勉強会の開催を検討することとする。

<勉強会・研修会の進め方（案）>

- 概ね3か月に1度の頻度で、合計3回の勉強会を開催する
- 勉強会の内容は、新たなテーマや形式での開催も視野に、検討部会の中で決定することとする
 - ー例えば、生活福祉課や障害福祉課との連携を学ぶ勉強会
 - ー例えば、在宅療養の4つの場面のうち特定の状況を取り上げた勉強会

6-3 地域住民への普及啓発の実施

約5年ぶりに開催したイベント「第3回ひの在宅医療・介護サービスフェア」は、参加者からの評価が良好で、比較的元気なうちから必要なサービスを導入するイメージを持てるような情報提供を行う”という当初の狙いを概ね達成することができたことから、令和6年度もこのイベントを継続して開催することとする。

イベントの開催にあたっては、プログラムの拡充や子世代を含めた幅広い年代への周知など実施内容のレベルアップを図ることとする。

また、令和6年度には、診療報酬改定及び介護報酬改定が施行される予定となっていることから、これにあわせてリーフレット「日野市在宅療養ガイドブック」の更新も行うこととする。

6-4 多職種連携ルールの更新

令和6年度は、今年度を実施した「多職種連携ガイド」のPRに継続して取り組むとともに、古くなった情報の更新を各事業所に働きかけることとする。また、これにあわせて、以下のような取組を行うことも検討する。

- MCS等のその他の連携ツールに関する情報提供
- 連携推進勉強会（2-2-1）に関する情報提供
- 日野市の在宅療養環境に関する課題や「エチケット集」で取り上げるべき情報の収集 等

6-5 国、東京都・他自治体の取組等の情報提供

令和6年度の検討部会では、日野市の在宅療養の抱える課題やその対応策について引き続き議論を行うことが想定される。そこで「国、東京都・他自治体の取組等の情報提供」については、検討部会の各回で議題になった／なる予定の内容について情報収集を行い、生産的な議論を進めるための材料を提供することとする。

- 例えば、「日常の療養支援」「入退院支援」「急変時の対応」「看取り」の4つの場面における支援体制や多職種の連携を向上するための施策 等

また、令和6年度には診療報酬改定及び介護報酬改定の施行が予定されていることから、リーフレット「日野市在宅療養ガイドブック」の更新作業にあわせて、こうした情報を関係者と共有し、国の施策の方向性にあわせた取組を検討する材料とすることも想定する。